

中村

発行所 中村会（愛知県立中村高等学校同窓会）

翔べ「心」



中村会は

その翼である！

心を一つに、新しい第一歩を！

会長 萩原 義昭



去る、8月20日の「中村会」総会で再任されました、第7代会長10回生の萩原義昭と申します。どうぞよろしくお願いたします。

本年度は、同窓会創立50周年の節目を終え、新しい第一歩を踏み出す活動を重点に進めてまいります。

☆中村高校サポーターとしての地域に根ざした活動。

☆同窓生・在校生・PTA・地域の支援活動。

☆だれでも自由に参加できる開かれた同窓会活動。

具体的には、母校を思い出し、「中村会」への意識を深めて頂くと共に、有意義で楽しい交流の場を創りたいと考えます。そこで、「総会の開催」「HPサイトの充実」「中村未来塾への協力」等を通し、会の活性化を図り、多くの同窓生の参加を求めています。

一方、皆様からのご寄付で運用している「英気の泉」は、校内国際交流事業やスポーツ大会遠征等の助成に当てていきます。また、文化祭にバザーブースを出展し、同窓会のPR活動や、PTAの皆様との懇親を図ります。さらに、若い同窓生の縦のつながりを深めるために「中村プロジェクト」を設立し、校内美化活動等を継続的に実施したいと考えています。

以上の活動を進める中で、「中村会」とPTAや教職員の皆様とが三位一体になり、「心を一つに」さらなる発展を目指していきたいと考えています。今後共、今まで以上のご支援・ご協力を賜りますよう心からお願い申し上げます。

「ハートのある教育実践」にご支援を

校長 三宅 正夫



昨年度より岡田順一前校長の後継として、第16代目校長を拝命いたします三宅正夫と申します。どうぞよろしくお願申し上げます。8月20日に開催された第51回同窓会総会・懇親会には、お忙しいところ、また、猛暑の中を2百名近くものご参加をいただきました。これも一重に同窓会の萩原義昭会長はじめ役員・会員の皆様方の熱意と実践の賜物であると思います。ありがとうございました。

今や2万1千余名を擁する「中村会」においては、国内はもとより国際舞台で活躍している会員の方々も大勢いらっしゃいます。そのような先輩の伝統と業績等を受け継ぎ、多くの後輩達も全国各地をはじめ海外の著名大学等に進学をしています。「英気の泉」・「叡智の星座」等の伝統精神を受け継ぎ、勉学はもとより部活動・生徒会活動・国際交流事業等が盛んな進学校としての地位をさらに確立していきたいと思っております。良き校風の伝統校で教職にあることを本校教職員一同、大変光栄に思っています。

昨年、平成17年度（2005）に同窓会50周年を記念して設けていただきました教育振興基金「英気の泉」をはじめPTAとの連携による土曜教養講座「中村未来塾」、国際理解教育等、「心の教育」につながる実践へのあたたかいご援助・ご支援に心から感謝をしています。

結びになりますが、中村高校の更なる発展と皆さんへの思いをCarl Sandburgの英文に託すとともに、各会員の皆様方のご健勝を心からお祈りしています。

Nothing happens unless first a dream.

51回総会・講演会・懇親会

平成18年8月20日(日) 於：ルブラ王山

【総会】



「心を一つに」と、熱のこもった萩原会長のあいさつ



中村会のさらなる発展を担う新役員の皆さん

【講演会】

テーマ「昆虫の多様性と環境保全」

講師 間野隆裕さん (20回生)



「聴衆を魅了するフェロモンを発する」
間野さんのお話

講演会に参加して

先ず始めに、間野さんご講演ありがとうございました。同じ20回生として嬉しく思います。

30年以上、昆虫に縁の無い生活をしてきましたので新鮮に楽しく聴講させて頂きました。特に蛾と蝶の分類の部分では、今迄の認識（漠然と半々と思っていました）とのギャップに驚きでした。個人的にはお話にもあった様に、『蝶は美しい』・『蛾は汚い』を今日から改めます。趣味の世界（5時から部分）を強調されていましたが、お話をされている姿は輝いており、1時間の聴講時間が短く感じられました。

現在のわたしは、サラリーマン生活も25年を超えて、ある部分惰性的になっている事がありましたが、今回を機会に今一度自分を見つめ直したいと思います。ただ一つ、一番お話をされたかった環境保全に関わる後半の部分が時間の関係で短縮された事が残念でした。

最後に、間野さんの今後のご活躍をお祈り申し上げます。

(20回生 山田一郎)

昆虫の世界から生き方を学ぶ

昆虫の話と同時に、間野さんの瞳が一段と大きくなり、体全体から、まるでフェロモンでも発しているかのように聴衆を魅了し、昆虫、とりわけ「ガ」の不思議の世界に、わたしたちを引き込んでいきました。

間野さんの話の一つ一つが不思議の連続でした。海水と淡水とが交じり合う汽水にも、「エンスイミズメイガ」という「ガ」が生息するという、不思議から話がスタートしました。何と、この「エンスイミズメイガ」は、20数年前に間野さんが発見した「ガ」だということでした。(間野さん、すごい！)

また、「セミヤドリガ」は、ヒグラシに寄生し、ヒグラシの寿命（2週間前後）によって大きさが変わり、しかも全てが雌という話へと、不思議は続きました。

さらに、モウセンゴケを食べる「モウセンゴケトリバ」の話や、「スズメバチ」に擬態する「キタフカシバ」という話など、「ガ」の生態の不思議さが、心に大きく残りました。

わたしは、「ガ」の生態の話を通して、自然への適応と生き物同士の共生の不思議さに感動するとともに、このことは、わたしたち人間が今、最も学ぶべきことではないかと思いました。

(15回生 吉川欣一)

【懇親会】



1回生と51回生の集合写真

懇親会に参加して

最初自分では全く行く気はなかったのですが、友達に強引に誘われたので行ってみることにしました。いざ会場に着くと普段交流することのない、いろいろな世代の方々がいて、ためになる話を伺いました。会場でビンゴゲームもあり楽しい一時を過ごしました。

僕は大殺界だったのですが奇跡的に1位になり、素敵な景品を頂きました。こんな素晴らしい会に皆さんも一度足を運んでみてください。

(51回生 桜井直人)

【アトラクション】

ストレッチ体操



笑顔で指導する若山三郎さん

ビンゴゲーム



あった！リーチ！

全員合唱



昔も今も中村は↓↓↓

懇親会に参加して

懇親会場ではわたしのように空襲によって父親を亡くし、疎開を経験し、家を焼け出された世代から、それより50才ぐらい若い世代の活気ある若者がごちゃ混ぜであふれていました。

この会で、最も有益だったことは、26回生の若山三郎先生のストレッチ体操でした。わたしは左肩、左背中、左腕に重苦しさや痛みを感じる事が多く、左手の三本の指にしびれを感じていました。しかしこのストレッチ体操をした後は、痛みが軽減したように感じました。

わたしの55歳のころは、手術しなければ歩けず、車椅子で痛みとしびれのひどい生活を余儀なくされると宣告され、頸椎(首の骨)を5箇所切開し、脊髄との間に隙間を作る手術をしました。

わたしは病になる以前から、外資との合弁企業の経営を任せられ、月々の経営目標の達成、国際会議出席、月々の業務報告書の作成等のため、毎日デスクワークに追われながら、通勤には車を使い、ほとんど歩くことも運動もしないで20年間過ごしていました。

同窓生の皆さん、たとえどんなにデスクワークが多くても身体を犠牲にしてまで仕事をしないよう心掛けてください。本題から脱線した事をお許しください。
(1回生 高橋卓司)

整形外科医 若山三郎(26回生)さんを紹介しします

若山三郎さんは本校26回生です。藤田保健衛生大学医学部卒業後、報徳会坂文種病院整形外科、社会保険浜松病院整形外科を経て平成13年6月開業し、現在は千種区末盛通で「わかやま整形外科」の院長として頑張っています。医院は若いスタッフが多くアットホームな雰囲気です。彼は柔道整復師専門学校で講師もしています。

医院が地下鉄本山駅1番出口から西へ徒歩0分の所にあるので、交通の便がよく、高齢者の方々や学生さんに便利ではないでしょうか。またリハビリでは柔道整復師2名、看護師1名、スタッフ10名が常駐する病院です。会友の皆さんも是非ご利用ください。
(紹介者 26回生 加藤伸夫)

学園歌(校歌)によせて

2回生には、「学園歌」が校歌でした。今も、一語一語に思い入れがこみ上げてきます。校歌は、同窓朋友の不朽の青春賛歌であり、人生の応援歌であります。校歌は、歌われて魂をもつものであり、襟を正し意気高らかに歌い上げるべきもので、培った教育の品性が発揮されます。中村魂よ、永久に響けと祈ります。
(2回生 高村義男)

☆来年度は、平成19年8月19日(日)にルブラ王山で行ないます。ご予約ください。

母校だより

コン ビ ネーション

魂 Bee Nation の学校祭

～学校祭を通じて出来た団結の輪～

生徒会長 206 岡本将太

生徒会室の窓からは各教室の窓が見えます。夏休み中、窓を開けて仕事をしていると、ダンボールを地道に加工している1年生、パフォーマンスの音楽を鳴らして朝から夕方まで練習している2年生、演劇の練習・打ち合わせをするため毎日登校している3年生、と全校生徒の気分はもうまさに“学校祭まっしぐら”という感じで、毎日が足早に過ぎていきました。

本年度の学校祭のテーマは「魂 Bee Nation - combination -」。Combinationという単語には「結合」・「団結」という意味があります。本年度の学校祭では、随所にその「団結」の様子が見られました。考えてみれば、全校生徒の985人全員が1つの事にこれほどまで団結して成功できたのはとても素晴らしい事だと思います。また、学校祭の準備の中でクラスやブロックのリーダーを務めていた人の真剣なリーダーシップの眼差しにも驚かされました。

この学校祭を通して得たものはと聞かれると、計り知れないものがあるでしょう。ただ、すべてに共通することをいえば、“Combination”ということだと思

います。「団結」できたから出会えたものがあるのだと思います。この「団結の輪」を通して、僕

たちは少し成長できた気がします。今度はこれを、さまざまな事に生かしていければと思います。

今、生徒会室の窓からは、だれもない中庭と明かりの消えた教室など、少し殺風景な景色が見えます。ちょっと寂しい光景です。しかし、また来年の今ごろになれば、またあの光景が広がり、全校生徒がふるえ立つでしょう。そのときまで全員充電しなければ(笑)と、僕は期待しています。



わたしたちの中村高校

部活動紹介

■ダンス部

全国高校大学ダンスフェスティバル入賞!!

「3番『王様の耳はロバの耳』愛知県立中村高校ダンス部。」予選の結果発表で1番最初にわたしたちの番号が呼ばれ、未だ入選を味わったことなかったわたしたちは、大声と共に涙を流しながら喜びをかみしめました。今回の作品を創作するにあたっての道程は決して平坦なものではありませんでしたが、最終的に特別賞〈独創的な発想・音響〉受賞という結果を残すことができ本当にうれしく思います。部員一同、これからも心身共に成長していきたいと思っておりますので、よろしくお願ひします。



■サッカー部

目標は5年連続県大会出場…!

サッカー部は、1年生20人、2年生10人と、マネージャー3人を合わせて30人の大所帯です。練習は、授業のある日は毎日6時までと、土日は練習試合を行っています。そのかいあってか、現在4年連続県大会へ進出しています。また顧問の村上先生は、生徒指導部長で忙しいにもかかわらずグラウンドへ来て頂き、全ての点で納得のできる指導をしていただいています。我々の目標は、まず5年連続県大会出場と、県ベスト4です。



■野球部

チーム一丸、県ベスト8を目指して

野球部は現在1年生16人、2年生はマネージャーを含めて21人で、毎朝7時から夜6時半まで、田川先生の指導のもと、一生懸命練習しています。

今年の春は大同を破って県ベスト32に進出しましたが、夏は奇遇にも同じ大同に破れて2回戦敗退でした。

秋季リーグも残念な結果に終わってしまいました。大会を通して見つけた課題をこの冬の鍛錬の中で克服することができたら、チームで目標にしている県ベスト8の目標も夢ではないと考えています。



国際交流事業

ヴィクトリア州との学校間交流事業



2年 瀬治山めぐ望

この度「英気の泉」より旅費を頂き、オーストラリアで実り多い3週間を過ごすことができました。お礼を申し上げます。参加者が一言ずつ感想を述べます。

- ・英語漬けの生活の中で友達もでき、帰りたくないくらい楽しく学び、自分の視野が広がったと思います。(瀬治山)
- ・授業が大学のような感じで、生徒の意見を尊重する授業形態はとてもよいと思いました。(奥村)
- ・学校に通い、多くの友達ができ、英語力もUPしました。よい経験になりました。オーストラリア大好き!(勝田)
- ・とても楽しく勉強になった留学でした。行く前よりも、英語が聞き取れるようになりました。(青山)
- ・本当によい経験になりました。ずーっとずーっと連絡を取り続けたいです。ありがとうございました。(大島)

アメリカン・サマーキャンプ (ASP)



2年 田中千恵子

初めは、AC (アメリカン・カウンセラー) が話すことを訳すのに必死で、頭が痛くなりましたが、夜のダンスパーティーでは騒いで笑って、すごく楽しかったです。リンボーダンスをやって、尾関先生がかなり低いのも成功してたのがびっくりしました。

2日目は台本を作って劇をやりました。セリフが英語なので、伝えたいことが表現できず苦労しました。でも、一生懸命考えた英語が伝わったときは、うれしかったです。

3日目になり、ACとお別れ…というとき、自然に涙が出てきました。

今回のことで、英語をもっと話せるようになりたいと思ったことや、顔見知りくらいでしかなかった人と、すごく仲良しになれたことが心に残っています。

土曜教養講座「中村未来塾」

第2回

16回生で名古屋大学大学院工学研究科教授の伊藤義人氏をお迎えし、2月4日(土)に、中村高校会議室で開催しました。

講演は、国立大学法人となった名古屋大学の環境の劇的変化についてのお話から始まり、伊藤氏ご自身が館長を務める名古屋大学図書館の仕事内容や、新しい時代の図書館機能を果たすための「電子ジャーナルタスクフォース」設立のお話へと移っていきました。

後半は、専門分野である橋梁工学について、名港トリトンや本四連絡橋を例に挙げ、写真・図・グラフをふんだんに用いながら素人にもわかりやすく説明してくださいました。

特に、未来の地球環境を保全するために、できるだけ長持ちし、メンテナンスを減らす橋梁技術の開発に苦心されている様子がわかるとともに、姉齒氏の行った耐震偽装とは正反対の、科学技術者としての高潔なモラルと使命感を感じ取れるお話でした。

高校時代は生徒会長・生徒会議議長を務め、今では図書館長・教授業の傍ら、名古屋大学全学同窓会の代表幹事も務められている伊藤氏の生き様は、ご自身の専門分野同様、様々な人と人を結ぶ橋渡し役としてかけがえのないものだと思います。強く感銘を受けました。



第3回

初めて会場を校外の中村文化小劇場に移し、6月17日(土)NHK名古屋放送局アナウンサーの飯田紀久夫氏(34回生)をお招きして、「放送ってどんな仕事?~デジタル時代で変わるもの・変わらないこと~」というテーマで開催されました。

高校の部活動のお話から始まり、現在担当されている「ナビゲーション」という番組の紹介やアナウンサーの仕事の説明後、実際に生徒がアナウンス原稿読みに挑戦し、アドバイスをいただきました。

その後、「仕事の中でも自分のやりたいことをやるのが大切」と、飯田さんが学生時代からのダイビングの経験を生かして深海2500mからの生中継をされた話を披露された。

最後に、放送はデジタル化されても取材する相手・対象は人であり、むしろより人を重視した考え方が必要であると話され、取材の中でもその人の個性・オリジナリティーが大切なことを例に挙げ、生徒たちに、まず自分自身のオリジナルな部分をしっかりとち、将来像をもって何らかの行動を起こすことが大切であり、そのためには人とたくさん話すこと、そして勉強をきちんとすることが大切なんだとメッセージを残されました。



職員の人事異動

今年4月の異動は次のとおりです。(敬称略)

【ご退職】

川本 巽(教頭) 8年間
 館 仁(英語) 26年間
 川崎 俊子(地歴) 13年間
 水野 一成(公民) 12年間
 遠山美千代(国語) 7年間

柏木 一志(数学) 10年間 緑丘商業高校へ
 服部 保弘(理科) 8年間 惟信高校へ
 賛 隆(地歴) 7年間 松蔭高校へ
 森部 優子(家庭) 7年間 瑞陵高校へ
 七海さくら(養護) 1年間 横須賀高校へ
 加藤 泰子(事務) 4年間 津島高校へ

小出 賢一(地歴) 津島東高校より
 寺部 信行(数学) 惟信高校より
 小田 睦子(英語) 熱田高校より
 真鍋 雅治(地歴) 愛知工業高校より
 武田 尚士(英語) 東浦高校より
 神野 秀樹(理科) 新任
 上田 幸香(養護) 新任
 芦田 健一(英語) 熱田高校より
 小川 強(英語) 熱田高校より
 大塚 敏明(事務) 佐織養護学校より

【ご転出】

西尾恭一郎(教頭) 6年間 春日井西高校校長へ
 大野 薫(美術) 18年間 木曾川高校へ

【ご転入】

永井 孝典(教頭) 小牧南高校 教頭より
 篠田みどり(教頭) 生涯学習課 主査より

総会で新たに決まったこと

1 同窓会会則の改定

第8条第1項を次のように改定した。

現 行

総会は毎年1回(8月第3日曜日)開催する。

改 定

「総会は毎年1回開催する」とだけ規定し、8月第3日曜日
 にこだわらないこととした。

2 同窓会慶弔規定の改定

以下の第1条を廃止した。

第1条 本会員に慶弔ある際は金賞を贈り慶弔の意を表する
 ものとする。

- 1 会員が結婚する際 連絡があった際、祝賀電報を打つ。
- 2 会員が死亡した際 連絡があった際、弔電を打つ。
- 3 特別会員の死亡 供花一對
- 4 その他特別の際 役員会で協議の上決定する。

平成18年度事業計画

①総会の開催

恒例の通常総会を懇親会等も合わせて開催いたします。

②会報の発行

平成18年度会報を12月上旬に発行いたします。

③ホームページの運営

内容を逐次改訂し中村会 HP を運営いたします。
<http://www.nakamurakai.gr.jp/>

④役員会の開催

役員会を年6回(奇数月の第3土曜日予定)開催し中村会の運
 営を進めていきます。

⑤「英気の泉」の運営

中村高等学校在校生や教職員皆様の諸活動支援のため教育振興
 基金「英気の泉」の募金活動及び運用をいたします。

⑥土曜教育講座「中村未来塾」への協力

PTA 主催の在校生対象教育講座「中村未来塾」への同窓生講
 師派遣及び参加等の人的協力をいたします。

⑦中村プロジェクトの活動

中村高校卒業生の縦のつながりを作っていく事を目的として、
 同窓生役員ならびに有志と、新しく加入する同窓生で意識を共
 有でき気軽に参加できるような活動を継続的に実施します。

中村会役員一覧

☆皆さんも、役員として活動してみませんか。ご希望の方は「中村会」事務局までご連絡ください。

回生	氏名	旧姓	役職	部会
10	萩原 義昭		会 長	
15	宮崎 晃吉		副 会 長	総務部会長
16	笹野 明美	(寺 西)	副 会 長	広報部会長
24	角田 大輔		副 会 長	財務部会長
18	石黒 礼子	(小原田)	書 記	総 務
26	杉嶋 重男		書 記	事 務 局
22	太田 守彦		会 計	財務部副会長
26	加藤 伸夫		会 計	広 報
10	松本 良平		監 査	財 務
11	杉本みち子	(渡 辺)	監 査	財 務
9	服部 吉隆		常任幹事	総務部副会長
15	吉川 欣一		常任幹事	広報部副会長
1	二村 忠雄		常任幹事	財 務
2	高村 義男		常任幹事	総 務
3	二羽 稔		常任幹事	広 報
6	鶴飼 守 守	(小笠原)	常任幹事	総 務
7	笠谷 新吾		常任幹事	広 報
9	中村 允昭		常任幹事	総 務
11	太田 和代	(宮 西)	常任幹事	総 務
11	佐藤 誠	(恒 川)	常任幹事	広 報
13	佐藤 政信		常任幹事	総 務
14	内藤 洋子	(平 野)	常任幹事	広 報
15	前島 睦子	(鬼 頭)	常任幹事	総 務
16	伊藤 義人		常任幹事	総 務
16	坂井 泉		常任幹事	総 務
16	伊藤 辰雄		常任幹事	財 務
17	宮沢 成子	(宮 沢)	常任幹事	広 報
17	川合 富雄		常任幹事	広 報
17	山田 光成		常任幹事	広 報
17	仙波 孝子	(木 村)	常任幹事	広 報

回生	氏名	旧姓	役職	部会
17	長谷川宏子	(澤木)	常任幹事	広 報
17	奥村 隆一		常任幹事	広 報
18	堀田 久富		常任幹事	財 務
18	堀田 守人		常任幹事	広 報
18	田中 隆彦		常任幹事	総 務
19	服部 保弘		常任幹事	広 報
20	墨 まゆみ		常任幹事	広 報
20	山下 信子	(小 泉)	常任幹事	財 務
21	林 勝彦		常任幹事	財 務
24	木村 和文		常任幹事	総 務
26	高木 靖之		常任幹事	総 務
26	岩田 賢治		常任幹事	総 務
29	田口 健次		常任幹事	総 務
29	尾関 達哉		常任幹事	総 務
37	山田 幸雄		常任幹事	財 務
41	大原 義行		常任幹事	財 務
41	渡辺 大介		常任幹事	財 務
41	有馬 健司		常任幹事	総 務
43	加藤 里奈		常任幹事	財 務
44	野水 弘司		常任幹事	総 務
44	安井 隆博		常任幹事	広 報
45	吉田 真良		常任幹事	総 務
45	祖父江 隆		常任幹事	総 務
47	古木 啓介		常任幹事	広 報
1	柘植 佳孝		会長相談役	
	三宅 正夫		顧 問	(校 長)
	永井 孝典		顧 問	(教 頭)
	篠田みどり		顧 問	(教 頭)
	山田 好雄		顧 問	(事 務 長)

平成17年度 中村会決算報告

平成18年度 中村会予算案

収入の部 (単位：円)

科目	予算	執行額	差額
前年度繰越金	3,814,474	3,814,474	0
入会金	1,388,000	1,380,000	△8,000
寄付金	—	10,000	10,000
雑収入	7,526	7,249	△277
計	5,210,000	5,211,723	1,723

支出の部 (単位：円)

科目	予算	執行額	差額
事業費	200,000	197,925	2,075
HP運営費	200,000	138,664	61,336
通信費	500,000	192,088	307,912
会報費	250,000	392,700	△142,700
会議費	30,000	10,740	19,260
諸雑費	50,000	38,223	11,777
慶弔費	50,000	39,587	10,413
名簿管理費	300,000	76,310	223,690
予備費	100,000	—	100,000
50周年予算繰入	1,500,000	1,500,000	0
繰越金	2,030,000	—	2,030,000
計	5,210,000	2,586,237	2,623,763

残高の部 (単位：円)

収入済額	支出済額	残高
5,211,723	2,586,237	2,625,486

収入の部 (単位：円)

科目	予算	備考
前年度繰越金	2,625,486	
入会金	1,400,000	350×@4,000
寄付金	—	
雑収入	4,514	
計	4,030,000	

支出の部 (単位：円)

科目	予算	備考
事業費	200,000	総会経費等
HP運営費	200,000	プロバイダー料金
通信費	700,000	総会案内・会報発送
会報費	300,000	
会議費	30,000	役員会・部会
諸雑費	50,000	
慶弔費	50,000	
名簿管理費	150,000	
予備費	100,000	
繰越金	2,250,000	
計	4,030,000	

会計監査 服部吉隆 ㊞

会計監査 宮澤成子 ㊞

会員の声

高校時代は楽しかった

卒業から10年以上経ち、職場では中堅となり仕事にも勢いがついてきたころでしょうか。子育てに忙しい人もいます。わたしは、年に三回、高校時代の友と酒を酌み交わす機会があり、そこには必ずいつもの仲間が参加します。そのとき誰からともなく出るのがこの言葉です。30代は本当に多忙です。でもみな心の糧にしているのは、時間を忘れ友とつくり上げた学校祭や、友と励ましあって乗り越えた部活動や受験勉強です。体力の衰えを感じるようになってきましたが、高校時代、一生懸命生きていた情熱は忘れないようにしたいと思います。そして心のふるさと中村がいつまでも「栄えあるまなびや」であってほしいと願っています。そのためのほんの一助かもしれませんが、わたしは「中村高生」として社会に貢献し、また中村会の活動にも貢献できるようにしたいと考えています。

(37回生 山田幸雄)

中村会ホームページ

<http://www.nakamurakai.gr.jp/>

中村会のホームページがあることをご存じですか？中村会からのお知らせや同窓生が活躍するイベントの情報、同期会の案内、そして、母校の今の様子などをいち早くお届けしています。ぜひチェックしてみてください。

また、皆さんからの情報もどんどんお待ちしております。「同期会をやるよ」「中村の時の友人がこんなことをやるよ」といった情報など、小さな事でもお知らせください！みなさんのチカラも加えてよりよいホームページを目指してまいりますので、ご協力をお願いします。掲載したい情報があれば事務局までお知らせください。

(中村高校 HP もご覧ください。 <http://www.nakamura-h.ed.jp>)